

海外留学のススメ#1



## アメリカ研究留学は人生の夏休み？ — 某小児科医の場合 —

小児科学分野 今井 千速先生

アメリカに渡って基礎研究をしようというモチベーションはどこから来るのでしょうか？すごい発見ができるかも/なんとなくかっこいい/英語がしゃべれるようになる/箔がつく、とかでしょうか？一方、家族への影響や経済面などネガティブな部分も気になりますよね。私が渡米することができたのは医師になって9年目のことでした。帰国して17年が経過し、現在は主に臨床医、時々基礎研究という毎日ですが、公私の両面から、留学して良かったと思っています。その理由について、当時を振り返ってお話ししてみたいと思います。

日時：2023年2月8日（水） 18：00-19：00

場所：第一講義室（ZOOMハイブリッド開催）言語：日本語

ミーティングID: 974 2979 0507 パスコード：268824

[HTTPS://ZOOM.US/J/97429790507?PWD=QVGVCXDRMNA3D3ZWRTJVN1NTEUS0ZZ09](https://zoom.us/j/97429790507?pwd=QVGVCXDRMNA3D3ZWRTJVN1NTEUS0ZZ09)

## アメリカ研究留学は人生のピンチ？ — 某基礎研究者の場合 —

発達生理学分野 杉山 清佳先生



ZOOM QRコード

国内でそれなりに研究生活ができていると、わざわざ職を失うリスクを冒して海外留学するの？と躊躇します。でも、経験者の話を聞くと、多くが海外での刺激的な経験をポジティブに捉え、後悔をしていないことが分かります。基礎研究者にとっては、留学中に優れた論文を筆頭著者として発表すれば、ピンチはチャンスに一変します。研究業績は、その後の職探しを大きく左右するためです。ただそうでなくても、留学中に築いた人とのつながりは、その後の人生に想像以上の豊かさをもたらしてくれます。



本セミナーはどなたでも参加自由なセミナーです。留学選抜などにて考慮されるグローバルポイント対象セミナーです。

新潟大学医学部 国際交流戦略委員会(担当 芝田) 連絡先：学務係（内線2081）